



近江路

大阪滋賀県人会誌〔年2回発行〕

新春号 No.78

2013.1.20

OSAKA SHIGA
KENJINKAI

野々村 晃〔画〕



ART HILL

(コムアートヒルは繊維団地の愛称です)

大阪船場繊維卸商団地協同組合

理事長 光井良治
 代表理事長 尾池良行
 副理事長 俣野富美雄
 副理事長 水本恵造

〒562-0035 箕面市船場東2丁目5番47号 ☎ (072)729-3321~4
 FAX (072)729-3325

— 近江牛から、近江の味文化へ —



本店 滋賀県近江八幡市東川町866-1 電話0748-37-4325
 長浜店 滋賀県長浜市元浜町11-27 電話0749-62-6115
 森島商事株式会社
<http://www.oumi-usi.co.jp>



心齋橋 法善寺あら札

創業大正九年
 〒542-0081 大阪市中央区南船場3-6-16
 TEL 0120-12-8712
 FAX 06-6245-1258
<http://www.houzenji-arare.co.jp>

よい品をより安く!!
食品スーパー

生鮮館



本社 〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目22-26
 TEL:06-6969-1686
 鴻池店 〒578-0974 東大阪市鴻池元町10-1
 TEL:06-6747-0338

代表取締役 前田 忠男

近畿地区全域 翌日配達

東大運輸株式会社

〒566-0035 大阪府摂津市鶴野4丁目1番26号
 TEL 072-633-7410
 FAX 072-635-2874
 MAIL todai-10@eos.ocn.ne.jp

北大阪配送センター
 西大阪配送センター
 ●小口集配 区域引越部
 ●区域・貸切 兵庫営業所
 ●引越・婚礼 南港営業所
 ●全国発送取扱 堺事業所
 ●倉庫保管梱包 尼崎営業所
 枚方営業所
 倉庫事業部
<http://www.i-netown.com/settsu/todai/index.html>

お客様と共に[ヒト、社会、地球]に
JUST FIT: ジャストフィットする物流を

創業96年の品質と信頼を胸に...

総営業面積2万坪を超える
 自社流通センターの運営、
 輸送管理、通関を含む国際物流など
 総合的な物流管理力を生かして
 お客様の営業活動をサポートしております。

CAPSOHN 阪南倉庫株式会社

〒590-0959 堺市堺区大町西3-2-3
 TEL 072-232-0267
 FAX 072-232-0054
 URL: <http://www.capsohnca.jp>



大阪滋賀県人会事務局 近江路編集部

〒541-0052 大阪市中央区安土町3丁目4-8〔東光ビル4階〕
 TEL 06-6262-2027 FAX 06-6262-8101
 [在席…水・木・金曜日の午後]
 事業部部長 安田泰治 090-4904-3121
 会計部部長 中西俊郎 090-3846-7923
 ■不在の場合⇒滋賀銀行・事務長〔06-6271-2791〕まで

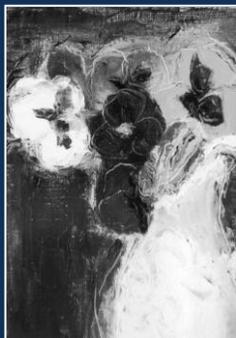
●銀行振込口座 滋賀銀行大阪支店 普通預金口座
 □座番号-151781〔拠出金・広告料振込〕
 □座番号-069658〔行事参加費申込〕
 □座名義-大阪滋賀県人会

●郵便振替口座 □座番号-大阪 00960-0-39069
 □座名義-大阪滋賀県人会企画運営委員会

★E-mail osakasigakenjinkai@fork.ocn.ne.jp
 ★HP-url <http://www2.ocn.ne.jp/~os-shiga/>

編集後記

■新年おめでとうございます。巻頭に、新年のスタートに相応しい俳句をと、徳岡美祢子様の「信楽焼の盃に近江の新酒酌む」を掲載致しました。本誌のグラビア調カラー化は『近江路』の新たなスタートです。より充実した県人会活動にと、心を込めました。■表紙の絵画は、野々村晃画伯が、本誌カラー化に伴い、再考して頂いた『パンジー萌える』です。無心に人の心を癒すパンジー、近江路もそんな存在になりたいものです。■今回から新たに『近江路探訪』『近江路ひと言葉』をスタートしましたが、良い構想があれば、どしどしご提案下さい。頁数に拘らず、内容重視の編集を心がけ、皆様により愛され、より親しまれる『近江路』を目指します。ご協力の程、宜しくお願い致します。次号『近江路』第79号〔秋季号〕は、8月20日発行予定です。お楽しみに。
〔近江路編集部〕



【表紙画に添えて】 **パンジー萌える** 画・文/野々村 晃

パンジーは花の中でも、特に可愛らしい感じだが、風雪を耐え暖かい風を誘うよう春の陽ざしをまるで胡蝶が舞うように手を広げている姿がいじらしく思える。我家の patio でも、毎年種々カラフルな色合いを演出して各々の姿や夢を訴えているようである。花自身、あらゆる輝きをはなつ不思議な力を持っているように思える。我家も毎年かかさず鉢植を幾つも並べ、来客をもてなしている。我家の役者達も、多彩で無心に色・姿を競うように、賑やかに語り合いながら、自己表現しているようにも見える。そんなパンジーが語り掛けてくれ、心癒されているので、ありがたいモチーフでもある。…花を愛で、花と共に…
画・文/野々村 晃

近江路
 新春号 No.78
 2013年〔平成25年〕
 ■発行…大阪滋賀県人会
 ■編集…運営委員会